

【本年度の活動】

(1) 枝豆活動

その活動内容は ESD 活動（持続可能な社会）の一環として地域の農家の協力により、全校児童で栽培活動を行い、自分たちで育てた枝豆をバザーで販売しました。その収益金を生きたお金としてユニセフ・ユネスコに寄付しました。

4月に地元の JA 青年部の方々の協力を得て、地域の特産物である枝豆の種をまき、学校近くの畑へ移植しました。3年生は社会科の学習で枝豆作りの様子を見学しました。自分たちも学校の畑で同じように育てました。手入れがされない学校の枝豆とプロが育てた枝豆は大きさもさやの付き方も全く違いました。7月に全校で収穫体験をし、3年生以上がさやをもぎ取る作業を行いました。4年生が計量・袋詰め作業をしてその日の午後、2年生の生活科の単元としてバザーを開き、地域の方々に協力していただきました。この収益金は2月のユネスコ集会の折にユネスコ協会岐阜支部の方へ寄付しました。この活動は毎年続いており、地域や家庭の協力なしではできない活動となっています。

(2) カンボジアの寺子屋と交流

岐阜県ユネスコ協会青年部「結」の方々に委託して、カンボジアの寺子屋へ文房具などを届けていただきました。児童会が中心となり、「家で使わなくなった文房具をカンボジアへ贈ろう」と全校へ集会を通じて呼びかけ、集まった文房具と共に児童の手紙や写真、手作りおもちゃなどを「結」の方々を通してソク・サント小学校へ手渡していただき、届いたおもちゃで遊ぶ様子や文房具を使っている様子を写真で紹介していただき、確実に届き、喜んで使っている様子を見届けることが出来ました。

(3) 世界寺子屋運動への参加

6年生が社会科及び総合の授業でカンボジアの現状や世界寺子屋運動について学習し、書き損じはがき募集のリーフレットを作成しました。この活動を通して子どもたちに社会問題を知り、そして関心を持ち、いろいろな国の現状や国際的な問題について調べる子が増えました。また、国連の活動やユネスコの活動内容を詳しく調べ、理解に努めました。

(4) 各種回収活動への参加

エコキャップ運動に参加し、各クラスで回収活動を行い年度末に委託業者を通じて送る活動を行っています。

使わなくなった靴をコートジボワールへ送る活動にも協力をして年度末に送っています。児童会が保護者へも協力を要請したところ、短期間でたくさん集まり、家庭だけでなく地域の方からも協力を得られるようになりました。

(5) 地域と共にボランティア活動

父親協力委員が中心となり、「地域の公園掃除」「学校のトイレ掃除」のボランティア活動を年に一度位置づけました。多くの児童が参加し、小学生、中学生、保護者、教員が一緒になり掃除をしました。

(6) ユネスコ活動を自分たちの学校生活に生かす

日常生活を思いやりの心から見直し、児童会が中心となって「あいさつ運動」「廊下歩行キャンペーン」「ふわふわ言葉」「プラスワン掃除」を行い、生活の向上を呼びかけています。

こうした活動を通してボランティアの精神やおもやりの心が育つことを期待しています。

(7) ESD 活動の推進

現在行っている総合的な学習の時間を見直し、持続可能な社会を目指すために、各学年が行っている活動が ESD の精神にかなっていることを広めることが出来ました。各学年が行っている活動内容は次の通りです。

1年：虫取り、栽培活動、国際交流

2年：生き物見つけ、ほうれん草の栽培、国際交流

3年：公園活動（花の栽培）、国際交流

4年：島の歴史、長良川、ひょうたんの栽培、国際交流

5年：福祉、鶺鴒、長良川博士になろう（環境教育）、国際交流

6年：国際理解教育、世界遺産学習、地域遺産活動、国際交流

(8) 東海地区の ESD 交流会への参加

金沢にて東海地区のユネスコスクールの教員が集まり、活動内容の報告会を行いました。活動内容について不安があったのですが、交流を通して、たくさんの方の活動のヒントをいただきました。有意義な会となりました。

(10) ユネスコスクール

事業の補助費を使い、大判の世界地図とTV地球儀、デジカメを買わせていただいた。国際交流会にて世界の国々を紹介する際、大いに役立った。テレビ地球儀も、社会科の外国の地理学習や、総合の世界遺産の紹介で役に立った。5年生の環境学習の際も、記録等にデジカメを使わせていただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）